



しいば 議会だより

第81号
平成28年2月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL(0982)67-3209
村内無料電話7-67-0091



祝 世界農業遺産認定

12月定例会(2~3)
一般質問(3~6)

常任委員会等調査...(6~7)
議会の動き(8)

平成27年12月定例会

平成27年度
一般会計補正予算は、**1億5千890万3千円**を追加
総額 64億6千896万5千円

平成27年度 特別会計補正予算額

会計名称	今回補正額(千円)	補正後(千円)
国民健康保険特別会計	7,974	535,356
簡易水道事業特別会計	△1,199	51,564
国民健康保険病院事業特別会計	0	527,072
介護保険特別会計	957	372,187
後期高齢者医療特別会計	351	89,982
ケーブルネットワーク特別会計	1,151	70,056

12月定例会が9日に開会10日までの日程となりました。

質問1件

- ・椎葉村人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めるについて

議案16件

- ・平成27年度椎葉村一般会計補正予算(第6号)について
- ・平成27年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
- ・平成27年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について
- ・平成27年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第3号)について
- ・平成27年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第2号)について
- ・平成27年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第3号)について
- ・平成27年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について
- ・平成27年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第2号)について
- ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について
- ・椎葉村税条例の一部を改正する条例について
- ・椎葉村保育の必要性の認定に関する条例の一部を改正する条例について
- ・村道路線の廃止について
- ・村道路線の認定について
- ・椎葉村水道事業給水条例の一部を改正する条例について
- ・工事請負変更契約の締結について(平成26年度 道整備交付金事業 林道 間柏原～中山線改良工事2-1工区)・村有財産(山林)の売り払いについて

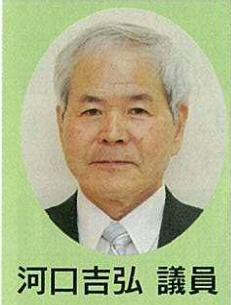
選挙1件

- ・椎葉村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

発議2件

- ・椎葉村議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
- ・森林吸収財源対策の財源確保を求める意見書

村長に聞く！～一般質問～



河口吉弘 議員

○河口議員

まち・ひと・しごと創生椎葉村総合戦略は、「村民がいきいきと働ける村づくり」「世界中を魅了する村づくり」、「子供たちが健やかで笑顔あふれる村づくり」、「時代に合った住み続けたい村づくり」を実現するとしているが、28年度予算編成

にあたって施策や予算づけをどう考えているのか。

○村長

昨年度末から繰り越し事業としてスタートさせた移住・定住者への住宅支援事業や雇用対策のためのサポート事業等につきましては、さらに充実させながら実施をしていきたいと思いますし、議員の質問にあります平成28年度予算編成におきましては、現在、各課から事業計画や予算要求をとりまとめている段階でありますので、具体的には、新年度予算説明の中で説明をさせていただきたいと思っております。

○河口議員

これまで育まれてきた大事な伝統文化の継承が、非常に危機的な状況に陥っている。

梅尾神楽で感動したのは、梅尾神楽では、中山間盛り上げ隊員や宮崎大学学生たちが一生懸命お手伝いをしていた。伝統文化の継承は地域や団体の実情もふまえしっかり支援していく必要がある。また、消滅の危機にある集落や地区に対する支援を行うべきと考えるが。

○村長

我々は、本当にこの先人達が残してくれた伝統文化、民俗芸能、そういったすばらしいものを引き継ぎ、受け継いでいくというのを、いろんな施策を立てておりますけれども、なかなか厳しい。国のほうにもソフト事業の要望活動をしてまいりたいと思っ

ているところでございます。

また、集落支援の問題は喫緊な問題で、一昨年ぐらい前からそういう施設を打ち出しまして、集落支援という形で道切り支援をお出ししております。始まって2年目ですけれども、軌道修正をしながら、今、住んでいる皆さんのが満足できるような、そういう支障を行ってまいりたいと思いますし、また、集落支援員、ことしから1人置いて実施をしております。

○河口議員

今、椎葉に住んでいる人たちが「椎葉に生まれ育ってよかった」と生活の中で思えるような村づくりに、全力で取り組んでいただきたい。ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の皆さんのが安心して暮らせるような仕組みづくりや支援が必要。総合戦略の実現のため子供からお年寄りまで、幅広く意見を聞きながら施策に反映すべきと思うが。

○村長

一番大事なことは、今現在、椎葉村に住んでいる住民の方たちが、本当に椎葉に住んでよかった、これからも椎葉に住みたいという施設を講じていくことが、その目標数値に近付いて行くのではないかということだと思いますから、そういう施設を皆さんのご意見を伺いながら策定をしていきたいというふうに考えておりますから、ご理解をいただきたいと思います。





岡村正司 議員

○岡村議員

現在、耕作放棄地の解消に向けてどのような対策をとられているのかお聞かせ頂きます。次に、放牧のメリット、多面的効果を考えるなかで利用促進に向けた見解を伺います。最後に、耕畜連携の水田活用として水田放牧の取組み推進についてお伺いします。

○村長

まず、1点目の耕作放棄地の解消に向けた対策についてでございます。

本村におきましては、ほぼ全村を対象とし、平成12年度よりスタートしました中山間地域等直接支払制度を積極的に活用してまいりました。その中では、集団的かつ持続可能な体制整備、いわゆるC要件を選択をいたしました。各集落との協定参加者が共同して営農活動が継続できる体制の構築を図ってきたところでございます。

第2点目の放牧のメリット、また、多面的効果についてでございます。

一般的な放牧のメリットといましましては、飼料代の軽減やふん尿処理の低減、また、適度な運動による繁殖性の向上などがあるものと認識をしております。

本村の場合は、牛舎の近くに適地があれば放牧を希望する農家の方もいらっしゃるようでございますけれども、耕作放棄地等を利用した放牧となりますと、小規模農地が点在していることなどから、面積規模や飲み水の確保の問題で難しい状況にあるわけでございます。

しかしながら、使用する中で、経費と労力の両面におきましてメリットも大きいことから、問題を解決し、重要なポイントとなるところをしっかりと行えば、生産者にとりましては、飼料管理の軽減につながることでありますし、必要なことだと考えます。

そのために生産者と十分協議をしながら推進してまいりたいと思いますので、ご理解をいただきたいと思います。

続きまして、3点目の耕畜連携による水田活用の推進についてでございます。

本村では、放牧に適した水田がないことやお互いの農家の合意形成が得られないことなどから、これまで実績がない状況でございます。

行政といましましては、放牧の必要性を認識した上で、畜産農家の方々の移行をとりまとめまして、耕作放棄地等の農地利用に限らず、適地の情報収集や本村の実情に合った仕組みづくりを検討してまいりたいと考えます。

また、今後におきまして懸念されます耕作放棄地の増加につきましては、引き続き獣害対策や土地基盤整備の推進、あるいは、農地流動化の活用など、多面的な取り組みが必要であると考えます。



椎葉芳一 議員

○芳一議員

本村は、林業の後継者の育成、林業経営の安定を目的に林業に対するいろいろな取り組みがなされておりますが、そういった中で、過去に土地所有者と契約が交わされたその後に契約が満了となっている部分林があるのではないかと思われます。

木材価格が低迷している中ではありますが、今後、契約満了を迎えた部分林についての対応策をどのように考えているのかお伺いをします。

2点目ですが、本村の産業の1つである椎茸栽培ですが、今後の購入原木の供給見通しについてお伺いするものであります。

○村長

素材評価価格が算定された時点におきまして、入札にすべきか、契約の延長をするべきかの判断を契約者であります地区集落の方々と協議をさせていただきたいと考えております。

2点目について、椎茸原木の供給事業についてで

ございます。

今後の供給体制につきましては、これまで同様に需要に対応する供給バランスを保たなければならないと考えております。そのためには、村有林の処分をはじめ、自家原木保有者の協力をいただき、原木を確保する必要があると考えております。本村の基幹産業であります椎茸生産を支える取り組みの1つでございますので、これまで以上に生産者が生産意欲を高めるような事業の展開を図ってまいりたいと考えます

○芳一議員

高齢化社会を迎えてる現状では、これから先の山林経営は厳しいものがあると考えます。また、今後、どのような策を講じていくのかも伺って置きたいと思います。

椎茸原木供給事業につきましては、来年度の購入原木の台数を調整しているということで、年々、こういった供給台数が調整されるのではないかと生産者が心配をされるのではなかろうかと考えているところでございます。

そういったことについても、また、今後の策をお聞きしておきたいと思います。

○村長

高齢者のところは、もう自分の代で売って、あとは造林しないというところもふえつつあると聞いておりますが、そういうことのないように、しっかり取り組んでまいりたいと思っているところでございます。

それから、椎茸原木につきまして、個人の小さな面積のところはなかなか把握しづらい。調査を入れるということも厳しいわけありますが、持って処分に困っているという状況があれば、やはり行政のほうにそ

いうはなしをしていただければ、原木供給制度に載せながらやってまいりたいと思います。



○重美議員

集落単位で高齢化、人口減少が進みますと公民館活動及び消防団活動、運営に支障が生じるのは言うまでもありません。本村の人口ビジョンから、今後、行政区及び消防団組織等の見直しが必要不可欠だと思われますが、村長の見解を求めたいと思います。

総合戦略は、村民一体となって取り組む施策だと位置づけている。第5次の長期総合計画において、サポートシステムの導入が掲げている。システムの利活用も含め、集落単位での説明会、意見交換等が必要じゃないかと考えられます。

情報セキュリティとしてどのような対策を講じるのか伺いたい。

あわせて、制度導入に係る村の財政負担、また送付先の周知徹底等の見解を伺いたいと思います。

個人情報保護条例において、第7条8条により、漏えい対策、漏えいに対して責任追及の義務が生じる。また、36条においても、特定個人情報保護審査会の組織として第三者機関のメンバーまた及びその会議等がありましたら、内容の報告等も伺いたい。

マイナンバーカードの通知カードが送付されていますが、一生大事な制度であるとすれば、被害を未然に防ぐためにも、高齢者はもとより村民への説明会の実施が重要と考えられるが見解を伺いたい。

○村長

集落については、維持できない集落が出ておりますので、区または集落と慎重に協議を重ねながら、必要であれば集落の合併等もして対応したいと思います。

消防団につきましては、基本的には、消防団団部と部長会による協議の中で決定したものを尊重していくこととしておりますので、今後もその中で協議を行っていただき、団としての意見を尊重してまいりたいと思います。

各部の団員減少対策としましては、部組織の統廃合による再編や、分団制も視野に入れた協議を進めているところでございます。

マイナンバー制度に対する村民の皆さんとの理解、浸透については、この制度が開始されてからも、さまざまな形で周知が継続をされ、また使用される場面が出てくればそこから理解が深まっていくのではないかと考えております。

情報セキュリティの問題でございますが、これについては、ハッカーによるネットワークからの外部進入を想定して、それに応じる対策ソフトが備わっていることと、情報の取り扱いについても限られた職員にしか閲覧権限ができない体制をとっていることなど、情報漏えいには細心の注意を払い、万全の対策を図っていきたいと思います。

財政負担に関しては、今回の通知カードの製造・発行にかかる費用は国の負担で行われました。それに加えまして、番号制度導入に関する各種システムの改修費用等は国庫補助金が充てられる予定でございます。これは、例えば、税分野、福祉分野等で管理している各種システム上の様式と変更に伴う改修費用が対象となります。このシステムの改修は、国の基準額を基本にその3分の2程度の補助率が予定をされております。

地区住民の方々への説明会に関しましては、区を単位として、そういうものの理解を受けるための説明会はやっていきたいと考えているところでございます。





椎葉信紘 議員

○**信紘議員**

急激な人口減少という危機感

から地方の再生、地方創生といった文言が非常に多く聞かれる

様相になった。椎葉村の人口は、

現在2,800人を既に下回って

いる現状にあり25年後には約

半数になると予測をされ、少子高齢化の一層の進行が鮮明にな

つてきている。

村行政主要課題の一つが「活性化対策」による人口の定着化、増加であると認識している。

具体的には、産業の活性化はもちろん、若者やU・Iターン者の方々の暮らしを保障・充実され、少子化対策に向けての子育て支援の環境整備など、魅力ある村づくりがしっかりとサポートされていると言ふことである。

各自治体の力は人口の増減によって左右されるとも言わされている。今回の椎葉村総合戦略において具体的な施策が示され、踏まえて村行政として、現状と将来を見通す中で、この人口減少に対してどう具現化されるのか伺いたい。

○**村長**

人口減少は産業の停滞や経済活動の縮小、あるいは集落機能の低下など、いわゆる負の連鎖に陥りかねない重要な課題であり、これまで人口の減少抑制策に取り組むことがこれまで以上に人口減少抑制策に取り組むことが必要であると考えております。

人口ビジョンを達成するための4つの基本目標とそれに付随する8つの具体的な施策を掲げたところであります。

基本目標の1つでございますが、村民が生き生きと働く村をつくるために地域資源を生かした産業

振興と操業支援及び農林畜産業の支援を図ります。

2つ目に、世界中を魅了する村をつくるために、地域資源を生かしたブランド力の強化と観光振興及びU・Iターンの促進を図ります。

3つ目に、子供たちが健やかに笑顔あふれる村をつくるために結婚、出産に対する支援の強化と、子育てしやすい村づくりや魅力ある人材の育成を図ってまいります。

4つ目に時代に合った住み続けたい村をつくるために、主体的地域づくりの推進と持続可能な社会の構築に取り組んでまいります。

また、総合戦略に掲げました基本目標と具体的な施策につきましては、区画の達成状況を客観的に判断するための重要業績評価仕様を設定したところがありまして、達成状況の検証や必要な戦略の見直しにつきましても柔軟に対応することをいたしております。



12月17日 三村議会協議会開催

去る、12月17日小雪舞う悪天候の中、2回目の三村議会協議会が諸塙村で開催された。研修内容は、耳川水防事業である、恵後の崎輪中堤工事現場にて、日向土木事務所の概要説明、その後、諸塙村で平成7年から実施している海外交流事業の取組について「マルファ村(ネパール)との交流をとおして」と題し、若本議長、田原議員より報告研修を受けた。協議会総会では、本協議会の収支予算、決算報告が承認された。また、次回の開催地は西米良村で決定した。終了後は意見交換会・交流会で親睦が図られ意義深い一日であった。



1月5日 木材初市

木材初市が、県内トップを切り、日向市東郷町の東郷林產物流通センターであった。

原木の海外輸出や木質バイオマス発電向けの丸太など需要の高まりで、県産杉の集落支平均価格は、1万1千円(m³当たり)と堅調なスタートとなつた。



1月19日 尾向公民館との合同陳情

北部森林管理署に尾向公民館と合同で「国有林内における森林整備の積極的な推進」を陳情にまいりました。国有林下流域の住民が、安全に安心して生活が送られるよう、森林整備、治山、作業道、維持工事等の積極的な推進をお願いし、北部森林管理署長からも「皆さんの要望と我々の事業推進は合致するものと考えております。椎葉村のために私たちができる事をやっていきたいと思います。地域の皆様のニーズに応えて事業を実施して参ります。」との回答をいただきました。



1月28日 時局講演会

去る1月28日に、門川町で県内の町村議会議員収集の中、時局講演会が開催されました。講師は、軍事アナリストで小渕内閣当時、野中官房長官とドクターヘリを実現させた小川和久氏による「日本人に国を守れるのか」と題した講演で・積極的平和主義が求められる理由・国民を挙げて考えるべきこと等を熱弁されました。



議会の動き

11 月	6～8日	平家まつり開催	上椎葉
	9日	宮崎県北部広域行政事務組合議会	延岡市
	10日	日向・東臼杵広域連合議会	日向市
	11～13日	全国町村議會議長会全国大会及び郡町村議長会政務調査(京都府)	東京・京都
	19～20日	森林・林業・木材産業研修会	宮崎市
	20日	県町村議会幹部議員研修会	宮崎市
	30日	議会広報研修会	宮崎市
12 月	2～3日	東臼杵郡議長会臨時総会	日向市
	7日	入郷地区衛生組合議会	美郷町
	16日	村立病院運営会議	上椎葉
	17日	三村議会総会	諸塙村
	24～25日	例月検査	監査室
1 月	4日	椎葉村成人式	上椎葉
	5日	木材初市	日向市
	6日	消防出初式	上椎葉
	7日	賀詞交歓会	上椎葉
	11日	第6回市町村対抗駅伝大会	宮崎市
	15～16日	日向・東臼杵郡議長会研修会	日向市
	26～27日	例月検査	監査室
	27日	時局講演会	門川町
	28日	第1回臨時議会	議場

議会を傍聴しませんか？

3月定例会は、3月9日開会予定となっています。

《お問い合わせは議会事務局》

TEL 67-3209 FAX 67-3500 議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。

編集後記

平成27年12月15日「高千穂郷・椎葉山地域」F A O(国連食糧農業機関)から世界遺産へ認定されました。おめでとうございます。各地域にとって自信と誇りになると同時に様々な効果も期待され地域と一緒に活性化に取り組みましょう。

今年は、大雪・記録的寒波の影響で水道管が凍結、破裂し大変な異常気象だったと思います。本年が皆様にとって健康で素晴らしい1年となりますことをお祈りいたします。